

情報の管理と流通

第12講 「知の拠点形成のための基盤整備」

久世均
(岐阜女子大学・教授)

「知の拠点形成のための基盤整備」

【目 的】

知識基盤社会においてデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという岐阜女子大学独自の「知の増殖型サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確立するために、地域に開かれた地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備が必要となる。このことにより、地方創成イノベーションの実現と伝統文化産業の振興並びに新たな観光資源の発掘を行うことができることを考える。

【学習到達目標】

- a. 知識基盤社会とデジタルアーカイブの関係について説明できる。
- b. 知識循環型社会について具体的に説明できる。
- c. 地域課題の解決とデジタルアーカイブについて説明できる。

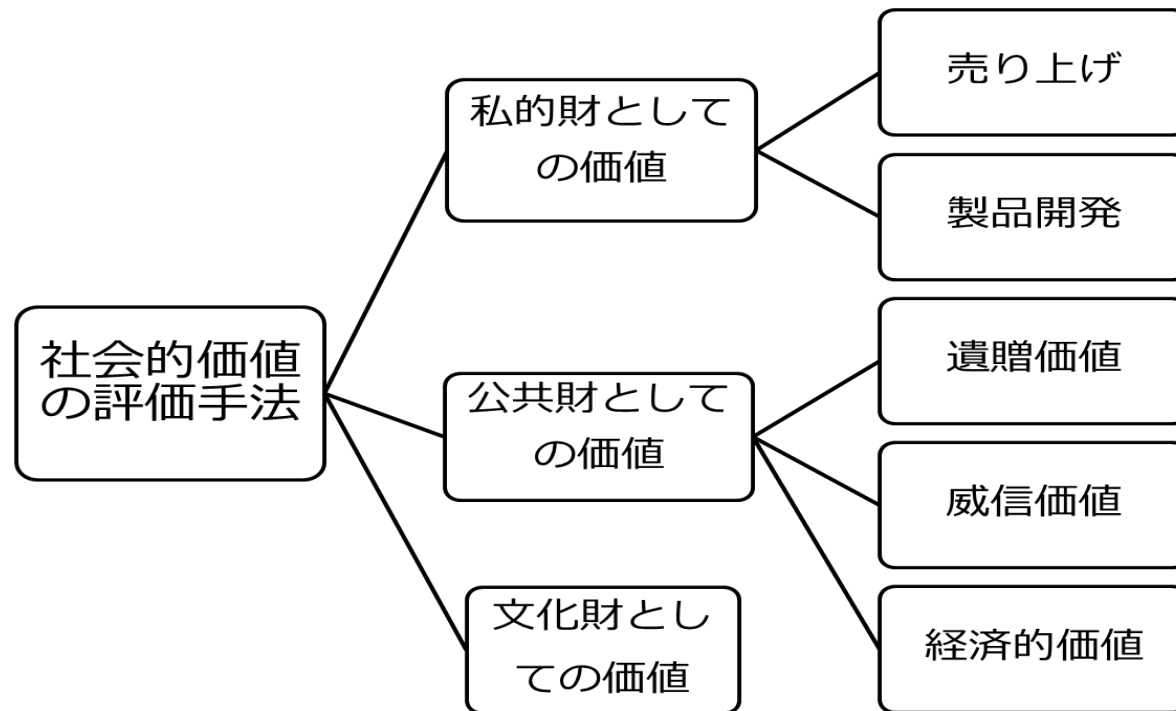
地域資源デジタルアーカイブ

- 地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備事業は、地域資源のデジタルアーカイブ化とその展開によって、地域課題の実践的な解決や伝統的産業の活性化並びに新しい文化を創造できる人材育成を行い、岐阜地域の知の拠点となる大学を目指すものである。

地域課題の解決手法

大学の機能は、**価値の創造**と**雇用の創出**である。既存の価値に対応するのではなく、**新しい価値を創造**することが**イノベーション**を創出し、新しい雇用に繋がる。

(例)



研究課題

大学が地域の知の拠点形成のための基盤整備に必要な要素は何か論述しなさい。

情報の管理と流通

第12講 「知の拠点形成のための基盤整備」

久世均
(岐阜女子大学・教授)